

THE MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION

地域の伝統文化

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

地域の伝統文化 第29号

令和3年10月4日発行

発行：明治安田クオリティオブライフ文化財団
編集：専務理事 壁谷 章 可
住所：〒163-0633
東京都新宿区西新宿1-25-1
TEL:03-3349-6194
FAX:03-3345-6388
<https://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>



秋田県大仙市「東長野ささら保存会」(令和三年度助成先)の『ごっつあか舞い』
於：「奠蔵院(てんぞういん)」 撮影：平成28年8月

令和四年度 「地域の伝統文化の継承・発展活動」 に対する費用助成希望受付開始

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団では、平成三年六月に財団を設立以来、地域に伝承されてきた「地域の伝統文化の継承・発展活動」とくに後継者の育成に必要な諸活動に対する助成を行なっています。令和四年度で三二回目をむかえます。

これまでに行なった助成は、累計一三〇七件となり、その地域も全国の都道府県に及んでいます。

令和四年度も以下の内容により公募を行ないます。

詳細につきましては、各都道府県の教育委員会または知事部局の文化関係所管課に送付してあります「令和四年度助成申込要領」をご覧ください。なお、申込要領の詳細は、財団のホームページにも掲載しています。

『申込要領の概要』

〔助成対象〕

「地域の民俗芸能」「地域の民俗技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。

〔助成の条件〕

令和四年度(二〇二三年三月まで)に後継者育成を目的とする諸費用(道具整備費、製作材料費、育成研修費、記録保存費用など)の支出を予定していること。その支出を賄うために、外部からの資金協力が緊急不可欠であること。

〔申込手続〕

- 一、提出書類
〔申込書〕(所定用紙)
〔推薦書〕(所定用紙)
〔活動状況がわかる写真〕
〔直近の収支決算書(写)〕

「参考資料」等
二、申込に際し、「推薦書」に各都道府県の教育委員会または知事部局の文化関係所管課の推薦・捺印を受けてください。

〔手続日程〕

- 一、申込期限
令和四年一月三十一日(月)
- 二、結果発表
令和四年三月下旬(予定)

〔選考方法手続〕

提出書類に基づき当財団の選考委員会で厳正に審査し、理事会に答申して決定します。

〔助成金額〕

- 一、民俗芸能への助成は、一件につき七〇万円が限度
- 二、民俗技術への助成は、一件につき四〇万円が限度

〔伝統文化分野選考委員〕

- 委員長 小島美子
(国立歴史民俗博物館名誉教授)
 - 委員 神野善治
(武蔵野美術大学名誉教授)
 - 委員 田中宣一
(成城大学名誉教授)
 - 委員 田村善次郎
(武蔵野美術大学名誉教授)
 - 委員 西角井正大
(国立劇場おきなわ運営財団理事)
 - 委員 星野紘
(東京文化財研究所名誉研究員)
 - 委員 渡辺行信
(当財団評議員)
- (敬称略)

II 特別寄稿 II

「日本神話は読み方次第」

(国立歴史民俗博物館名誉教授)

小島 美子

(当財団理事・伝統文化分野選考委員長)

小島美子先生略歴



福島県出身。

東京大学文学部国史学科卒業。

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。

東京藝術大学講師、国立歴史民俗博物館教授

江戸東京博物館研究員を経て、

現在、国立歴史民俗博物館名誉教授。

専攻は日本音楽史、民俗音楽学。

主な著書に、

『日本の音楽を考える』『歌をなくした日本人』

(以上、音楽之友社)

『日本音楽の古層』(春秋社)

『音楽から見た日本人』(日本放送協会)

など多数。

このところ新型コロナウイルスの感染が広がったため、自宅にいたことが多くなり、ようやく長い間暖めてきた日本音楽史を書き始めた。とはいっても、実はこの数十年の間に考古学や歴史学などの研究が進み、特に弥生時代や日本への水田稲作の伝来の問題などは、ひと頃のあの熱い論争を忘れてしまいう程、明らかになってきたので、まずは勉強というところである。音楽史ももち論社会の動きと深い関係があるからである。

そこで一つ困った問題が出てきた。古代(実はそもそもその定義から問題だけれど、今は問わない)の歴史を通史的に書いてある本とか教科書の類では、縄文、弥生、古墳時代までは考古学の成果によって述べ、まだ論争のある魏志倭人伝にはふれているものの、その後

は中国の「宋書」が倭の五王と書いた讚・珍・済・興・武(仁徳天皇から雄略天皇までに当たる)の話に飛ぶ形になっている。古事記や日本書紀が述べているそれ以前の話は、その他の状況も考え合わせて厳密に検討すれば、歴史の史料として扱える部分もあると思うけれど、一般的には神話としておこうということなのかと思う。しかし音楽史の問題としては無視できないことがある。それで私は「神話の世界の音楽」という章を加えることにした。

一番極端な例をまず紹介しよう。雅楽の曲として有名な「久米歌(舞)」という曲がある。これはカムヤマトイハレビコノミコト(神武天皇)が東へ戦い進んだ時、従っていた久米部の人が歌い始めたので久米歌と呼ばれた。舞もついでその後も演じられ、室町時代から中断していたが、文政元年(一八一八)に再興され、昭和二十年終戦の年に終わった。しかし楽譜も演奏されたレコードも残っている。また歌詞は記紀が記録している歌詞そのままである。この曲には大変珍しく日本書紀に「楽府に此の歌を奏ふときは、猶手量の大きさ小ささ、

及び音聲の巨き細さ有り。此古の遺式なり」と歌い方の解説がある。この後半は大体わかるけれど、前半の意味についてはまだ定説がない。恐らく歌の間に伸び縮みがある意味とすると、この時代はトントンと進む拍節のリズムが普通だったのに、この曲は自由リズムで歌われたということかもしれない。芝祐泰が採譜した楽譜でもそう判断できる部分があり、音階は本来律音階（ドレファソラド）であるが、そのレとラの音が少し下がって演奏されている。

名曲といわれているこの曲を、一九四五年で何故やめたかという点も「皇軍」の戦勝を祝い喜ぶ歌だったからである。第二次大戦中はこの歌の最後の句「撃ちてしままん」を使い、「敵米英を撃ちてしままん」などとも知らぬ私たちが歌わせられていたのである。

この曲は日本書紀にも「古」と書かれているわけで、少なくとも千数百年以上前の歌が、とにかく今に伝えられているので、音楽史としては見逃すわけにはいかないのである。

神話の世界の音楽の中心はもち論歌で、あらゆる機会に歌が利用された。なかでも多いのは恋の歌で、大國主命や天皇たちの多くは浮気で、かわいい娘がいればすぐ歌いかけて自分のものにしてしまう。

応神天皇が日向の美しい髪長比売を呼びよせたところ、彼女を先に見た息子の大雀命（後の仁徳天皇）が自分に下さいという。応神天皇はそれを許して大きな宴で柏の葉にお酒を盛って、彼女に大雀命にそれを持っていくようにすすめることによってその気持ちを伝えた。その後で応神天皇は彼女を譲ったことを嘆く歌を一人歌うのである。今時こんな粹な男性は？

楽器のこともいろいろあるけれど、最後に音楽を離れて一つ面白いと私が思った話を紹介したい。日本人の少なからぬ人はもしかして何となく、神々のいる高天原は空の上にあるとも思っているのではないだろうか。ニギノミコトが降りてきたのは、宮崎県北部の高千穂か、宮崎県と鹿児島県の境にある高千穂かといまだに真面目に論争されていたり

するからである。冷静に考えればそんなことではないと思うだろうと思って記紀を眺めていた。すると高天原は水田稲作がかなり発達している所であり、アマテラス（天照大神）は神に捧げる布を織機で織っている。そこにスサノオ（素戔嗚尊）がひどく悪いことをしてアマテラスが岩屋戸に隠れてしまったのは有名な話である。その天岩屋戸の話には金属も出てくる。つまり高天原は弥生時代では最も高度に発達したところということになる。

ということは九州北部ということになるのではないだろうか。これは小島の妄想だけれど、古事記や日本書紀を読むと面白い材料がたくさんある。どうぞ皆様、この自粛の時代を楽しく過ごすための一助として、神話を御覧になってはいかがでしょう。ただ楽しく読むのにはもち論口語訳の本で、神様の名前が並んでいるところなどは飛ばして、面白そうなどところを拾い読みして、必要があればその前後を読むというような気楽な読み方をお勧めします。

寄稿

上ノ国昔踊り 持続可能な地域の伝統文化の継承活動について

北海道檜山郡上ノ国町

上ノ国昔踊り保存会

事務局 塚田 直哉

(令和三年度助成先)

◇上ノ国町について

上ノ国町は、北海道南西部の北は追分流れる江差町、南は城と桜の松前町に挟まれた日本海沿いに位置しています。面積は、五四七・七一km²で約九二%がブナ、ヒノキ、スギ、トドマツなどの山林で占められ、集落が天の川河口周辺の沖積平野と日本海に面した長さ三〇kmに及ぶ急な段丘崖が迫る海岸線沿いに営まれています。人口は、四五三五人（高齢化率四三・八%）で年間一〇〇人以上のペースで減少し、二〇四〇年の推計値で二四〇九人まで落ち込むことが予想され、少子高齢化が急速に進みつつあります。



【勝山館跡の遠景】

町の特徴は、室町時代に和人とアイヌが共生したことを示す山城が点在し、北海道内でも比較的古い文化財が多くみられる地域であることです。

町名の由来は、室町時代に北海道の日本海側が上ノ国（かみのくに）、太平洋側が下ノ国（しもくに）と呼ばれ、北方日本海交易の拠点として繁栄を極めた勝山館跡を擁した当町に上ノ国の名前が残ったとされています。

◇上ノ国昔踊りの発祥と保存会のあゆみ

上ノ国昔踊りは、その発祥について文書類から確認できませんが、室町時代の戦勝祝いの踊りと伝えられています。江戸時代の上ノ国周辺は、勝山館跡を築いた松前藩祖の武田信広が治めていた場所であったことから、松前藩主や家臣が先祖詣りとして夷王山神社、上ノ



【保存会の活動】

国八幡宮、砂館神社を参拝する習わしがありました。上ノ国昔踊りは、その際に松前藩主らを歓迎する踊りであったといわれています。

また、明治と昭和はより身近な踊りとして地域に広がり、祭典、進水式、結婚式などの各種行事で賑々と披露されるようになり、夜を徹して踊られていた頃、夜を徹して踊られていたと盛んであったと窺い知ることができました。

しかしながら、平成に入ってから保存会の会員の高齢化によって、活動休止状態となってしまうようになりました。そのような折、平成二十八年度からスタートした歴史文化基本構想の策定事業の中で、上ノ国昔踊りの現状を

知った上ノ国昔踊り委員と連携して、上ノ国昔踊りの継承について検討を行いました。そして、上ノ国昔踊りの価値



【復活した保存会の活動】

◇上ノ国昔踊りの特徴

上ノ国昔踊りの最大の特徴は、なんといっても武士の風格を感じさせる槍を振りかざす所作。中世の山城が数多く築かれた上ノ国町の歴史に根付いたものであることを示しています。踊りの内容は、踊り手が円になって笛・太鼓の演奏や囃子詞に合わせて演舞します。囃子詞は、かつて一〇〇種類以上あったといわれておりますが、昭和五十三年頃には三〇種類程度しか残っていませんでした。

また、囃子詞は時代を反映した社会風刺的な面のもものが多く、江戸時代のニシン漁が盛んな頃には東北及び北陸方面から来た出稼ぎ漁夫の望郷や妻子慕情が作詞されています。明治以降の囃子詞は、その詞の中に地域の生業に由来しているものが多い。例えば、「すだれの上さいか干したカラスガツたきや、なんにもネー」というように、日本海に面した上ノ国町で盛んに行われる漁業に関連した詞で踊りの音調を整えています。

◇次世代への継承

上ノ国昔踊り保存会は、地域住民と行政が連携し、上ノ国昔踊りを復活・継承させていきました。有志が集い発足させた組織です。会員は現在二二名ですが、その七割が六〇〜八〇歳代で占められており、体力的な問題から踊ることが難しくなっている方

も既に出てきています。そのため、保存会では大人だけでなく次世代を担う子どもを対象とした体験教室の実施を検討していましたが、子ども用の衣装がなかったため、会費以外の収入がない保存会にとって今後の活動に支障が生じていました。今回、財団からの助成を受け、衣装の購入を行うことができた。また、上ノ国昔踊りの継承で踊り手だけでなく、衣装の製作や着付けに関する方の育成にも取り組まなければならない。今回の助成事業では、子どもも取り組まなければならない。担当の衣装を原材料から購入し、担い手となる子どもを保護者や大人を対象に着物の仕立てや補修、衣装の合わせ方などの衣装全般に関する取り組みも同時に行うことを予定しています。



【練習風景】

今度も活動を継続すること、子どもや親、祖父母といった幅広い世代をつなげる場を創出し、持続可能な地域の伝統文化の継承に努めていきたいと思っております。

寄稿

大留下棒の手保存会に伝わる伝統武芸と次世代への願い

愛知県春日井市

大留下棒の手保存会

会長 神戸 洋史

(令和三年度助成先)

◆愛知県春日井市大留下区について

春日井市は、愛知県の名古屋都市圏の北東部に位置し、高蔵寺ニュータウンを擁する住宅都市で、市の将来像として「暮らしやすさと幸せをつなぐまち」を掲げています。大留下区は、JR高蔵寺駅と神領駅の中間に位置し、神明神社や親王塚古墳、荒子古墳などがあり、棒の手や御神楽といった郷土芸能が伝えられています。天保十二年(一八四一)の下大留村絵図(春日井市近世村絵図集)によれば、神領村境に近い所に竹林が描かれ、谷口館と日比野館跡が記されています。

◆棒の手とは

棒の手は、棒や刀(木刀)を使う武術的な民俗芸能で、愛知県の尾張と三河の旧国境に多くの流派が伝承されています。大留下棒の手保存会が「東軍流」を継承し、尾張旭市印場地区から流れを汲むとされています。東軍流は、貞享元年(一六八四)山伏伝昌院主塚伝寿が東軍流武術指南者である平岩清伝から東軍流目録を授かったとされ、攻めを主体とした演技が多い特徴がありますとされています。

春日井市内には、他にも清和天皇の子孫である源義家を流祖とし、県指定無形民俗文化財である「小本田町源氏天流岡田棒の手保存会」、直師夢想東軍流の「出川町棒の手保存会」、真影流の「神屋町棒の手保存会」、神影流の「玉野棒の手保存会」などが地域に根差した活動を展開しています。

◆棒の手保存会の復興と承継の苦心

大留下区では、戦争で途絶えていた棒の手を一九六〇年代前半に、先代会長の小林正吉氏(享年九七歳)と県議会議員を務めた神戸昭治氏を中心に、古老たちが保存会を結成し、伝承活動を続けてきました。



【春日井まつりでの迫真の演武】



【神明神社での花笠と槍】

ある「小本田町源氏天流岡田棒の手保存会」、直師夢想東軍流の「出川町棒の手保存会」、真影流の「神屋町棒の手保存会」、神影流の「玉野棒の手保存会」などが地域に根差した活動を展開しています。

を受けて保存会を存続させたいと願う熱い思いを持った地域の三〇〜四〇代の若手数人が立ち上がり、風前の灯から保存会は危機を脱しました。日比野、神戸などの姓の人々を中心に、小学生など新たな世代も増え、保存会活動は活性化していきま

に瀕しています。◆伝統芸能への情熱を人から人へと伝承する



【次世代を担う子どもたち】

棒の手を始め伝統芸能とは、「人から人へ」と伝承するものであるが、仕事や学業、家庭などで現代生活が多様化する中で、それらに優先して、地域の伝統文化を継承し、保存会活動を続けていくことは困難であり、常に逆境や危機的状況に瀕しているといっても過言ではありませ



【永年功労者の表彰式の記念撮影】

棒の手の伝統衣装に「風切」があります。東軍流の「風切」は龍の刺繍を胸に刻み、子どもたちの憧れの衣装で、身に付けた子どもは眼を輝かせ、演武を行います。残念ながら財政的に数が不足している状態でした。しかし、苦難の道にも人生には、ときに一筋の光が差し込むことがあります。今回、明治安田クリテイティブ文化財団の助成金をいただき、伝統衣装の「風切」を購入することができました。この意義は、子どもたちの憧れを実現し、将来の指導者、伝承者を育てることにつながります。「情熱は人から人へと伝染する。」きつと近い将来、子どもたちが大人へと成長し、棒の手の伝統芸能を受け継ぎ、さらに次の世代へと情熱をつないでくれると信じ、その日まで、自分自身の情熱を絶やさず、一人でも多くの人に伝染させたいと願っています。

寄稿

大住隼人舞の由来と継承について

京都府京田辺市大住地区
大住隼人舞保存会

会長 石坂 清
(令和三年度助成先)

◆隼人舞の歴史

「隼人舞」の起源は、日本書紀神代下巻海宮遊行(かいぐうゆうこう)の章第四別伝、即ち海幸彦(うみさちひこ)・山幸彦(やまさちひこ)の物語の後半にあります。これは、山幸彦に海で溺れるところをたすけられたことにより、海幸彦が感謝の証として、湖に溺れる様をいろいろな演舞にしたものです。この神話は、薩摩半島の西海岸吹上浜(阿多、田布施、加世田)で生まれ鹿兒島市坂元町催馬楽(せばる)一帯に住む隼人一族が、国分鹿兒島神社や大隅の総神守公神社に奉納する神舞として、隼人舞を伝えていきました。そして、今から約一三〇〇年前の奈良朝時代に大隅隼人達は、九州から京田辺市大住の地に移民したと云われ、「大住」の名もそれによって由来します。その後八回にわたります。宮中では朝廷に奉納されました。こうして九州で生まれた隼人舞は、隼人の大住移住によって朝貢舞として伝えられ、後の雅楽の源流ともなりました。

◆大住隼人舞の復活

「大住隼人舞」は、故志賀剛先生の大住における隼人舞復元のご努力と、鹿兒島出身で隼人

舞の継承者であった故牧山望先生のご指導により、五人の地元青年によって昭和四十六年十月十五日に長らく途絶えていた隼人舞を、およそ五〇〇年ぶりに秋祭りの月読神社の境内において、復活させたものです。その後、昭和五十年十二月には、この「大住隼人舞」が田辺町(現在の京田辺市)無形民俗文化財第一号の指定を受けました。そうして、昭和五十一年には大住隼人舞保存会が結成され、同年に中学生が舞人を務めることになりました。以後、代々大住地区の中学生舞人によって今日まで受け継がれてきています。

大住隼人舞は、毎年十月十四日の夜、大住地区の月読神社(西八)と天津神社(岡村)で奉納されています。

◆大住隼人舞の特徴

舞の基本動作は、全て「日本書紀」に見える兄神ホスセリ(海幸彦)が演じたという芸能の姿によっています。そして、これらは隼人舞の所作にそれぞれが反映されています。次の六つからなります。

- ①「足占(あしうら)」「足挙げ(あしあげ)」「走り廻り(はしりめぐり)」「腰押(こしもちい)」「手を胸に置く」
- ②「瓢箪(たひろかす)」「足元」
- ③「湖で水が段々と増え、これらは、湖で水が段々と増え、
- ④「腰」↓「胸」↓「溺れる寸前」↓「胸」↓「溺れる寸前」↓「胸」↓「溺れる寸前」

前「までの、水から懸命に逃げた様子表現したものです。これら

れらを基本動作としますが、持ち物によって多少の舞い方に相違があります。

◆大住隼人舞の構成

- 大住隼人舞の種類は以下の六種類です。
- 一 お祓(はらい)の舞
 - 二 神招(かみおぎ)の舞
 - 三 振剣(ふりつるぎ)の舞
 - 四 盾伏(たてふせ)の舞
 - 五 弓の舞
 - 六 松明(たいまつ)の舞



〔二〕神招の舞 〔三〕振剣の舞 〔四〕盾伏の舞

これらは「日本書紀」の記録をもとに、鹿兒島県の隼人舞の伝統なども合わせて考慮し復元されたものです。大住隼人舞で演奏される音楽も比較的単調で、楽器も太鼓と笛(龍笛)のみです。又、隼人舞に加えて隼人踊りがあります。これは新しく考案されたものです。



〔隼人踊り〕

◆継承活動の内容

大住隼人舞は、月読神社と天津神社の秋の例大祭の宵宮にあたる十月十四日の夜に両神社境内で奉納を行っています。練習は六月から十月の奉納までの間、月読神社の隣にある京田辺市北部住民センターにて、隼人舞・龍笛・隼人踊りに分かれて各指導員のもと行われます。九月下旬には隼人舞と龍笛は合同練習で仕上がりを確認します。又、同時に衣装合わせを行い衣装と道具を確認しています。月読神社では奉納の約一週間前に舞台を設営し、そこで舞台リハーサルを行います。

その他の活動として、個別の出演依頼があった場合は、その都度練習日程を組み準備した後出演しています。最近の主なものとしては、平成二十四年八月に鹿兒島県霧島市にて「大隅国建国一三〇〇年記念隼人舞の共演」に参加、令和元年五月三日には「新天皇御即位記念日本」悠久の歴史 大阪城ファミリアフェスティバル二〇一九」に出演しました。

◆保存会の運営

大住隼人舞保存会の会員数は約四〇〇名で、この内、役員は指導員を含めて約三五名です。



〔舞台リハーサルの様子〕

◆後継者の育成

隼人舞の舞人は、中学校一三年生で三年生が卒業すると一年生を中心に新人舞人を募集して一定数の人員を確保し後継者を育成しています。隼人踊りの舞人は、小学校四六年生で六年生が卒業すると新四年生を中心に新人舞人を募集して後継者を育成しています。龍笛奏者も基本的に隼人舞の舞人と同じシステムで後継者を育成していますが、応募が少ない上に演奏にかなりの習熟度と技能が必要のため卒業後も続けられる者には引き続き奏者をお願いしています。後継者育成の一環として、地域の小学校から依頼を受けて大住隼人舞の「出前授業」を行っています。これは地域の歴史や伝統文化を教えるもので、小学生の子供達に大住隼人舞について理解を深めてもらい将来の舞人希望者が一人でも多く出ることを願って行っています。

寄稿

「立石楽(たていしがく)」
継承について

大分県杵築市山香町

立石楽継承活動応援隊

会長 二宮 孝人

(令和三年度助成先)

◇由緒

かつて大分県国東半島には、腰蓑をつけ、胸に締め太鼓、背に旗差し物を背負った打子が踊る楽打ちが盛んでした。大分県杵築市山香町立石に伝わる「立石楽」もそのひとつです。その起源を立証する文献は現在のとこに見当たりますが、伝えるところによると後陽成(ごようぜい)天皇の文禄年中豊臣秀吉が朝鮮出兵を行った際に戦勝を祝って打った楽を、豊臣家とゆかりの深い領主木下候が領内に伝えたこととされています。

江戸時代後期の豊後の事績を記した「豊後跡考(ぶんごしやくこう)」には、「豊後の俗に楽といふもの有。大なる太鼓を胸にかけ腰に木皮の蓑をまき、うしろに旗を差し、鉦・笛を和し、是をたつる軍事法になぞらふ(後略)」とあります。また、同地区には、水ヶ迫楽(みずがさこがく)という同系統の楽打ちが伝承されており、その由来を記した元禄十一年の碑文には、「水ヶ迫付近の農民は天水にたよって耕作していたので、時々干害を蒙って苦しんでいたが、ある時、水ヶ迫神社傍らの岩が俄かに崩壊し活水が湧出し水利の便を得るようになった。これを喜び、秋には毎年俗楽を奏し感謝した」とあることから山

昭和三十六年三月十四日記録
選取、同四十一年三月二十二日



[立石天満社大祭での奉納]

戸時代中頃に立石地区でも楽打ちがあったことがわかります。立石楽を継承してきたのは、大字立石の船の人々で、当初は集落の北方にある尾台の頂と呼ばれる裏山にある六所権現遙拝所につけて登り楽を奏して災厄を祓い五穀豊穡のお礼祭りを行っていました。野焼きが出来ず山登りが困難になっても、集落内の辻の堂から六所権現を遙拝し、楽を奏していました。また、郷社「立石天満社」の大祭でも毎年楽を奉納してきました。



[立石楽継承活動応援隊の発足会]

重要無形文化財として大分県の指定を受けました。

◇変遷

時代の流れと共に後継者不足の波に抗えず、船としてこの継承が困難となりました。そこで立石小学校高学年による「総合的学習の時間」の取り組みの中で立石楽の継承を試みました。平成十六年より着手し、平成十八年には演目全てを継承し運動会や天満社秋祭に披露し、平成二十年には披露しました。しかし再び、児童数の減少により、平成二十九年を以て一旦休止の憂き目にあうこととなりました。

◇現在の活動

そのような状況において、十余年、小学校に蒔いた郷土愛の種が、芽吹きました。このままではいけない。どうかして残さなければ、という立石小学校のOBOGの想いが周りの大人たちを動かしました。市・地域住民を巻き込みながら賛同者を集め、再構築を試みることとなったのです。



[延隆寺御会式での奉納]

舞いの場としては、地元の大祭、延隆寺御会式での奉納などです。また、舞いの技術だけでなく、衣装の着付けや、楽人が履く草履の作成技術など、楽人が関する継承も地元の高齢者の方にご協力を得て行っており、地区内の世代間交流の場としても担っています。



[練習会の様子]

現在、楽人一七名、支援部員七二名が在籍しています。かつては指導者もいましたが、高齢になり、今は楽人たちが小学校で習っていた時の映像と彼らの記憶を頼りに隔週水曜日、立石小学校で練習を重ねています。

◇展望

日々の生活の中ではともすれば忘れがちではありますが、現在を生きる私達は過去の先人たちや歴史の上に生かされています。それは同時に、未来へと引き継ぐ責任も負うという事です。今回、財団からの助成により、締め太鼓の修復ができることは、大変有難いことです。これを励みとするともにより一層の責任の重みも感じています。今後の展望としては、市内外を問わず、興味ある方には積極的に勧誘を図り、「立石楽」の何たるかを周知したいと思えます。そのためには、手段として、SNSの活用など時代に沿った方向も考えています。カタチのないモノはカタチでは残せません。だからこそ、心で受け継いでいくのです。この想いがある限り、歩みを止めることはできないと思っております。



[草履作り]

寄稿

紀州へら竿の伝統と継承

和歌山県橋本市

紀州製竿組合

紀州へら竿伝統工芸士会

会長 田中 和仁

(令和三年度助成先)

沿革

紀州へら竿は、明治十五年に大阪の竿正から始まる伝統技法を現代まで継承し、経産大臣指定の伝統的工芸品に指定されています。へらぶなは、大正期から養殖が盛んになり、一大ブームとなったことから、日本各地にへらぶなの釣り堀が作られ、また、池や川でも多くのへら釣り人が見られました。大阪で生み出された紀州へら竿は、紀伊山地で採れる良質の高野竹が原料として非常に重要なものになりました。やがて、竹の産地に近い橋本市を中心にその生産拠点が移り、親方から弟子へ、手づくりの技法を変えていきます。現代に継承されています。



[紀州へら竿]

研究池の開設

昭和四十年ごろから、グラスロッドやカーボンロッドという化学繊維の釣竿が主流になりましたが、紀州へら竿は芸術的にもいえる伝統的な装飾を取り入れ、憧れの釣竿として、関東をはじめ人気を博しています。

昭和三十五年ころから台頭してきたカーボン釣竿が高性能であることと、へらぶな養殖技術が向上し、へらぶなが大きくなったことで、紀州へら竿はより強く、道具としての性能を求められることになりました。竿作りの技術を活かして、カーボン釣竿への転向をする職人も多くなりましたが、昭和三十七年、約二〇〇人の竹竿職人が紀州製竿組合を結成し、「紀州製竿組合研究池（隠れ谷池）」を開設しました。へら竿の研究所ともいえるこの池に、へらぶなを放流し自ら釣竿の性能を研究することをはじめました。そして一般釣り人にも開放し、釣竿の研究と市場調査を、各職人が研究、研鑽する。このことが、カーボンロッド全盛の現代においても、紀州へら竿が現代人の心を癒す道具として在り続ける、大きな要因となっています。

紀州へら竿の概要

紀州へら竿は、主に三種類の竹を組み合わせ、釣れた時には、あたかも一本の竹のようなきれいな弧を描き、へらぶなのやりに取りを、楽しめるよう設計されています。穂先（一番細いパ

ツ）は真竹、穂持ち（二番）は高山周辺の国有林で採れる高野竹。三番目以降は矢竹の三種類です。世界遺産にも認定された紀伊山地は、自然が手厚く保護されてきたおかげで良質の高野竹が自生し、細くて強靱な性質から、へら竿の材料として丁度良くマッチしました。先人が試行錯誤の末に落ち着いた竹の組み合わせは、非常に優れたため、今なおそれを超える設計が見当たらず、基本技法として伝承されています。先人の知恵に感謝するところです。紀州へら竿は、完成までに約一年を必要として、約一八〇工程は、そのほとんどが手作業で、材料の確保から、漆塗りまで、ほぼひとりで完成させます。竿師は、完成までの様々な違う技術を習得せねばなりません。逆にそのば、他の影響をうけることなく物づくりを続けることができま



[火入れの工程]

小中学校での教育事業

現在、橋本市立小中学校の総合学習では、紀州へら竿制作体験や、釣り体験教室に来てほしい。と沢山の要望があり、より多くの子供たちに紀州へら竿の

良さや、手作り品の大事さを知ってもらおうと、一年を通じて多くの子供たちに体験してもらっています。五〇年を超えるこの小中学生への教育事業は、地域に浸透し、先生、生徒さんから貴重な体験になったとの声をいただいております。



[へら竿制作体験]

釣り教室について

今年で二三年になる親子釣教室を実施しています。この親子へらぶな釣り教室は、橋本市内の全校小学五、六年生に案内を送り、橋本市内のボランティア、竿師の有志、橋本市商工会議所、橋本市教育委員会が協力し、実施しているものです。参加人数分の竿やウキ、エサをあらかじめ準備し、手ぶらで釣りに参加できるこのイベントは、釣りをしたことのない子供さん、親御さんでも参加できます。



[親子釣り教室：隠れ谷池]

後継者について

令和三年より、橋本市内にあった後継者育成施設「匠工房」を紀伊清水駅に移設しました。駅舎直結になった匠工房は、入門希望者を竿師が交代で指導し、紀州全体で育てていく後継者育成所です。従来の徒弟制度では、親方が育てるために孤軍奮闘し、双方の苦勞も多くなかなか入門を許すことがありませんでした。この匠工房では、お弟子さんは、色んな技術を習得できるほか、従来では五年必要であった徒弟制度を短縮するねらいがあります。現在生徒さんがなく、竿師が実演をしており、後継者の希望があれば、このように業界として手厚くお迎えし、この素晴らしい紀州へら竿を継承して行きたい。と今後、取り組んでいく所存です。



[匠工房：紀伊清水駅]

平成3年～令和3年 都道府県別伝統文化助成先一覧(1) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
岩手県	小梨芸能保存会	山形県	堀内伝承文化保存会	平成3年度助成(29)	
秋田県	戸沢さら保存振興会	栃木県	山岡和三郎氏(日光下駄)*	北海道	石崎奴保存会
	鷹巣町綴子太鼓上町保存会	群馬県	大神楽獅子舞保存会	青森県	厚岸かぐら保存会
山形県	遊佐のアマハゲ保存会	埼玉県	明覚流流鏑馬保存会		紙漉沢獅子踊保存会
	峠ノ山八幡神社弓祭協賛会	千葉県	野田津久舞保存会		七戸町教育委員会
福島県	葛尾村公民館	神奈川県	大谷芸能保存会	岩手県	白浜剣舞保存会
栃木県	大沢田太々神楽保存会	石川県	能登の揚浜式製塩保存会*	宮城県	とよま山車まつり保存会
千葉県	佐原囃子保存会	福井県	花山行事保存会	山形県	今利一郎氏(深山和紙製造)*
新潟県	片野尾歌舞伎保存会	岐阜県	加子母歌舞伎保存会	群馬県	島麻保保存会*
富山県	八尾町曳山保存会	愛知県	甚目寺説教源氏節人形芝居「もくもく座」	東京都	説経節の会
福井県	糸崎寺仏舞保存会	三重県	東玉垣唐人踊り保存会		秋川歌舞伎保存会
	福谷区大火勢保存会		二木島祭保存会	新潟県	神谷地域ビデオ収録委員会
山梨県	藤木道祖神祭保存会	滋賀県	吉身祭礼保存会	福井県	越前万歳保存会
長野県	信級中原流太々神楽囃子保存会	兵庫県	福田お幡入れ法伝哉伝承保存会	長野県	塩尻市教育委員会*
岐阜県	高雄歌舞伎保存会	和歌山県	土生八幡神社お頭保存会	岐阜県	大井文楽保存会
三重県	深野和紙保存会*	島根県	西本里美氏(西田葛の復興)*	三重県	東玉垣唐人踊り保存会
滋賀県	岩熊区雅楽保存会		中野神楽保存会	奈良県	石打太鼓踊保存会
大阪府	能勢町人形浄瑠璃実行委員会	広島県	八千代神楽団	和歌山県	大島水門祭保存会
	堺式手織段通技術保存協会*	山口県	鷺の舞保存会	島根県	西本里美氏(西田葛の復興)*
兵庫県	熊野神社裸祭り保存会	徳島県	森藤獅子舞保存会	広島県	島後久見神楽保持者会
鳥取県	新田人形浄瑠璃芝居相生文楽	香川県	中山農村歌舞伎保存会		比和町獅子芸能振興会
島根県	鹿子原の虫送り踊り保存会	高知県	佐喜浜八幡宮古式行事保存会		金城一斎斎後継者池田昭人氏*
	出雲民芸紙工房*	福岡県	内野地区老松神社獅子舞保存会	徳島県	西原上十二神祇神楽保存会
岡山県	壬生農村歌舞伎保存会	長崎県	坂本浮立保存会	福岡県	中村園太夫座人形浄瑠璃
広島県	常定神楽継承団体「戸山会」	熊本県	上井出神社奉納楽保存会		加布里山笠保存会
山口県	別府岩戸神楽舞保存会	大分県	大行事八幡宮(カハ)踊保存会)		新多神楽保存会
徳島県	犬飼農村舞台保存会	宮崎県	村所神楽保存会	長崎県	大村龍踊り保存会
香川県	家の浦二頭獅子舞保存会	鹿児島	東郷文弥節人形浄瑠璃保存会	大分県	木牟田子供神楽保存会
愛媛県	大江山保存会	平成6年度助成(40)		宮崎県	諸塚神楽保存会
高知県	野市町立山神社棒術獅子舞保存会	北海道	蘭越町根曲がり竹細工研究会*		大人歌舞伎保存会
福岡県	平八月祭り保存会	青森県	鬼鹿松前神楽保存会	平成4年度助成(34)	
佐賀県	西塩谷面浮立保存会	岩手県	鮫神楽保存会	北海道	安浦駒踊り保存会
	武雄流流鏑馬実行委員会		上郷伝統工芸研究会*	岩手県	長沼町勇獅子舞保存会
長崎県	中尾獅子浮立と唐子踊保存会		石橋鑑剣舞保存会		妹背牛町獅子舞保存会
熊本県	久連子古代踊り保存会		夏井大梵天神楽保存会	宮城県	上郷伝統工芸研究会*
大分県	丸山俚楽保存会	宮城県	塩入神楽保存会		伊藤流行山鹿踊保存会
宮崎県	今西三段打分太鼓踊保存会	秋田県	尾去沢からめ節保存会	山形県	鷹生郷土芸能保存会
鹿児島	入来麓疱瘡踊保存会	山形県	北條郷総鎮守獅子冠事務所	宮城県	金津七夕祭保存会
	佐仁八月踊り保存会	茨城県	柿岡からくり人形保存会	秋田県	大葛金山民俗芸能保存会
	中村悦子氏(芙蓉布復元)*	東京都	西川古柳座	山形県	前山郷土芸能保存会
平成8年度助成(43)		富山県	五ヶ種チヨガレ踊り保存会	山形県	押切神楽保存会
北海道	留萌岩戸神楽保存会	石川県	柏野じよんがら保存会	神奈川	民具製作技術保存会*
	(財)アイヌ民族博物館*		能登の揚浜式製塩保存会*	山梨県	下部温泉神楽保存会
青森県	古懸獅子舞保存会	福井県	だのせ祭り保存会	岐阜県	岐南町伏屋獅子舞保存会
岩手県	行山流都鳥鹿踊保存会	山梨県	美和神社太々神楽保存会	三重県	東玉垣唐人踊り保存会
	平組はしご虎舞保存会	長野県	日吉御鍛様祭り保存会		一色町能楽保存会
宮城県	武鎗鹿踊保存会	岐阜県	白鳥拝殿踊り保存会		三日市ワナイ保存会
秋田県	綴子下町太鼓保存会	三重県	大淀祇園祭保存会	兵庫県	淡河八幡橋音頭踊り保存会
	鳥田目番楽保存会	大阪府	貝塚東三吉馬保存会		池尻神社人形狂言保存会
山形県	山形町ふるさと資料館	兵庫県	青田神楽保存会	奈良県	龍口獅子舞保存会
福島県	上三坂のやっつき踊り保存会	奈良県	誠謡会	鳥取県	日南神楽 神光社
茨城県	あんば囃子保存会	和歌山県	真国御田保存クラブ	島根県	西本里美氏(西田葛の復興)*
栃木県	宗円獅子舞保存会	鳥取県	アリエ・グリンズ*		隠岐いぐり風保存会*
群馬県	沼田祇園囃子保存会連合会	島根県	赤塚神楽佐義利保存会	広島県	備後かすり学習会*
千葉県	仁組獅子舞保存会	広島県	江の川水系漁撈文化研究会*		羽佐竹神楽団後援会
東京都	ふるさと資料館建設推進委員会*		名荷神楽団	山口県	鷺の舞保存会
神奈川	仙石原神楽保存会	山口県	徳地人形浄瑠璃保存会	高知県	船戸花取踊保存会
新潟県	赤玉文化財保存会	徳島県	猿坂獅子組保存会	福岡県	大分獅子保存会
富山県	八尾町曳山保存会	愛媛県	八幡丸運営委員会	佐賀県	今寺面浮立保存会
	福野縞の会*	高知県	宮谷堂の口あけまつり保存会	長崎県	鷹島町島踊保存会
福井県	加茂神社上宮の神事	福岡県	四三嶋獅子廻し実行委員会		萩田浮立保存会
山梨県	大久保神楽保存会	長崎県	館浦須古踊り保存会	大分県	武多都神楽保存会
	沢登六角堂切子保存会*		大島村盆踊振興会	宮崎県	潮嶽神楽保存会
長野県	成就神楽囃子保存会	熊本県	中江岩戸神楽保存会子供神楽部会		榎木白太鼓踊り保存会
	阿島傘の会*	大分県	重岡岩戸神楽保存会	鹿児島	三島村八朔踊保存会
岐阜県	串原歌舞伎保存会	宮崎県	村所神楽保存会	平成5年度助成(35)	
愛知県	(財)平野町町政会		佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)*	北海道	ヤイユーカーラの森*
三重県	一色町能楽保存会	鹿児島	蓬原熊野神社神舞保存会	青森県	新十津川町獅子神楽保存会
	深野和紙保存会*	沖縄県	伊江村民俗芸能保存会	岩手県	新山権現保存会
大阪府	船待神社神楽子供獅子踊り保存会	平成7年度助成(43)			上郷伝統工芸研究会*
兵庫県	廣峯神社無形文化財保存協議会	北海道	月浦獅子舞保存会		赤沢芸能保存会
奈良県	南都見耀会		釧路アイヌ民芸企業組合*	宮城県	宮崎獅子舞保存会
鳥取県	馬佐良申し上げ祭り保存会	青森県	沼崎念仏鶏舞保存会	秋田県	中野七夕保存会

平成3年～令和3年 都道府県別伝統文化助成先一覧(2) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
愛媛県 長命講伊勢踊		山形県 平田さしこの会*		平成8年度助成(続き)	
高知県 土佐歌舞伎伝承会		群馬県 猿田彦神社大和神楽保存会		島根県 伝承ホーランエンヤ馬淵權伝馬保存会	
福岡県 今津人形芝居保存会		大宮神社獅子舞保存会		岡山県 川上町渡り拍子保存会	
佐賀県 嘉瀬之浦獅子浮立保存会		海南神社面神楽保存神楽師会		広島県 阿刀神楽保存会	
長崎県 森鉦浮立保存会		新潟県 湯川五社神楽人會		山口県 陶の腰輪踊り保存会	
熊本県 西大村浮立保存会		石川県 木津豊漁太鼓保存会		愛媛県 お簾踊保存会	
大分県 樺木神楽保存会		福井県 若狭町三宅六齋念仏保存会		高知県 遼・三番双保存会	
宮崎県 高沢組太鼓踊り保存会		長野県 今庄羽根曾踊保存会		福岡県 流鏝馬武徳会	
鹿児島県 五馬玉来神社楽保存会		岐阜県 内山柱松保存会		佐賀県 蔵上御田舞保存会	
鹿児島 尾八重神楽保存会		三重県 若松友志会		長崎県 鬼木鐘浮立保存会	
沖繩県 久留平氏(太鼓製作)*		滋賀県 栗谷念仏踊り保存会		熊本県 南阿蘇長野岩戸神楽保存会	
平成12年度助成(49)		京都府 老杉神社頭屋行事保存会		大分県 天間地区公民館	
北海道 掛漣奴保存会		伊根町立石区		宮崎県 広原神楽保存会	
青森県 目名神楽会		久多の山村生活用具保存会*		鹿児島 大的始式保存会	
岩手県 上郷し踊り保存会		野間出野村祭り保存会		沖繩県 柏原区芸能保存会	
宮城県 塚沢早池峰神楽保存会		多可町播州歌舞伎クラブ		平成9年度助成(47)	
秋田県 和潤法印神楽保存会		奈良県 祭文音頭保存会		北海道 雷公神社神楽会	
山形県 秋田市太平山谷番楽保存会		和歌山 木本八幡宮の御田祭保存会		青森県 田子神楽保存会	
福島県 沢渡獅子舞保存会		鳥取県 円通寺人形芝居保存会		岩手県 行山流都鳥鹿踊保存会	
茨城県 海老根伝統手漣和紙保存会*		島根県 出雲大社神代神楽波積支部波積神楽団		宮城県 嵯峨立神楽保存会	
群馬県 八槻都々古別神社楽人會		今田町内会		秋田県 森岳歌舞伎保存会	
群馬県 西金砂神社田楽舞保存会		横野和紙工業協同組合*		山形県 小田島田植踊保存会	
埼玉県 平出歌舞伎保存会		比和町郷土芸能振興会		福島県 北部先囃子若龍会	
神奈川 日進餅つき踊り保存会		つるぎ町天の岩戸神楽保存会		栃木県 芦沼獅子舞保存会	
新潟県 NPO法人小田原鑄物研究所*		香川県 香翠座デコ芝居保存会		群馬県 沼須人形芝居保存会あけぼの座	
富山県 城腰花笠踊保存会		愛媛県 弓削雨乞踊保存会		千葉県 野田津久舞保存会	
山梨県 岩瀬まだら保存会		高知県 西畑人形芝居保存会		神奈川 宮城野獅子舞保存会	
長野県 八朔祭下町屋台保存会		福岡県 鐘崎盆踊り振興会		新潟県 警女唄ネットワーク	
愛知県 小菅柱松神事保存会		佐賀県 東真手舞浮立保存会		富山県 越後弥彦手仕事倶楽部*	
三重県 大治太鼓保存会		嬉野町温泉区面浮立保存会		石川県 八尾町曳山保存会	
滋賀県 能田徳若万歳保存会		黒丸踊保存会		福井県 小松市歌舞伎愛好会	
兵庫県 ゆうづる会*		目丸棒踊り保存会		長野県 和久里壬生狂言保存会	
奈良県 大江羯鼓踊保存会		本町虫追い太鼓を考える会		岐阜県 仁科神明宮神楽保存会	
鳥取県 下笠参弥礼踊り保存会		国東神楽社		岐阜県 新楽舎獅子舞保存会	
島根県 さいれん坊主保存会		綾町宮原地区唐人踊り保存会		静岡県 島田帯祭保存会	
広島県 月ヶ瀬奈良晒保存会*		伊崎田和紙保存会*		愛知県 古出来町神社奉賛会	
山口県 田口水分神社奉讃会		鹿児島 鹿児島市中山町下虚無僧踊保存会		三重県 長太鯨船保存会	
徳島県 竹田さいとりさし少年団		沖繩県 草戸原		滋賀県 なすび団扇継承保存会*	
香川県 追神頭打供盛団		平成11年度助成(48)		京都府 深野和紙保存会*	
愛媛県 養山八幡の吹囃子行事保存会		北海道 蘭越町根曲がり竹細工研究会*		京都府 綿向神社雅楽「楽人座」	
高知県 柳井縞の会*		青森県 穂別町アイヌ民族文化保存会		京都府 棚倉孫神社瑞饋御典保存会	
福岡県 祝島神舞奉賛会		岩手県 龍神社法霊神楽保存会		大阪府 久多の山村生活用具保存会*	
佐賀県 祝島神舞奉賛会		山内神楽保存会		兵庫県 貝塚三夜音頭継承連絡会	
長崎県 坂州若連中		宮城県 城生野神楽会		奈良県 播州音頭踊保存連合会	
高知県 ひよげ祭り保存会		秋田県 大沢郷椒沢番楽保存会		和歌山 安塔町なもて踊り保存会	
福岡県 野市町立山獅子舞芸術保存会		山形県 越沢自治会		鳥取県 高芝の獅子舞保存会	
佐賀県 川名津神楽保存会		福島県 海老根伝統手漣和紙保存会*		島根県 福栄伝統芸能保存会	
高知県 一の宮万歳保存会		豊景神社太々神楽保存会		岡山県 民谷神楽団	
福岡県 吉木芸能保存会		日枝神社流鏝馬保存会		広島県 大賀島大智明権現保存会	
佐賀県 立岩浮立保存会		升塚獅子舞保存会		徳島県 江波漣伝馬保存会	
長崎県 馬渡区鉦浮立保存会		群馬県 奥平神社獅子舞保存会		香川県 高川原勇獅子保存会	
熊本県 土井丸浮立保存会		深作ささら獅子舞保存会		高知県 東かがわ市白鳥虎頭舞保存会	
大分県 大浦区舟グロー保存会		江戸消防彩粋會		高知県 土佐の暮らしの文化を守る会	
熊本市 嵯峨島オーモンデー保存会		新潟県 杉野沢民俗芸能保存会		福岡県 松会保存会	
大分県 福山神楽保存会		富山県 福光ちよんがれ保存会		佐賀県 飯田面浮立保存会	
宮崎県 放生会委員会		石川県 上井田獅子舞保存会		長崎県 若宮稻荷神社 竹ン芸保存会	
鹿児島県 北原人形芝居保存会		福井県 美浜町和田区		熊本市 中窪田神楽保存会	
沖繩県 伊形花笠踊り保存会		山梨県 中之倉神楽保存会		大分県 野々河内神楽保存会	
平成13年度助成(50)		長野県 日野多慶子氏(願法寺の絵解き)		宮崎県 高城町徳満坊あげ馬保存会	
北海道 ペーパン福島踊り保存会		三重県 曾原かんこ踊保存会		鹿児島 徳重大太鼓踊り保存会	
青森県 高館駒踊り保存会		滋賀県 油日神社奴振り太鼓踊り保存会		沖繩県 平原利秋氏(ゴッパン・楽器製作)*	
岩手県 小袖漁撈唄保存会		大阪府 吉志部神社どんじ保存会		伊波貞子氏(ミンサー・織物)*	
宮城県 湯屋神楽保存会		兵庫県 大蔵谷獅子舞保存会		平成10年度助成(47)	
秋田県 筆甫神楽保存会		吉野山青年団御田植神事保存会		北海道 穂別町アイヌ民族文化保存会	
鹿児島 八沢木獅子舞保存会		和歌山 小川郷土芸能保存会		岩手県 白符荒馬踊保存会	
福米沢送り盆保存会		鳥取県 芦津獅子舞保存会		宮城県 丹内金津流鹿麗保存会	
		島根県 玉若酢命神社御霊会風流保存会		秋田県 行山流湧水鹿麗踊保存会	
		広島県 幸崎町能地春祭保存会		宮崎県 山伏神楽保存会	
		山口県 数方庭保存会		秋田県 雄物川町岡本新内伝承会	
		徳島県 阿波木偶箱まわし保存会		五城目町民俗芸能保存連絡協議会	
		香川県 NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会		横岡サエの神保存会	
		愛媛県 高知獅子保存会			

平成3年～令和3年 都道府県別伝統文化助成先一覧(3) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
三重県	水沢お諏訪おどり保存会	和歌山	藤白の獅子舞保存会	平成13年度助成(続き)	
滋賀県	ずいき祭保存会	島根県	南本通吉兆行事保存推進協議会	山形県	八ツ沼大名行列組合
京都府	丹後藤布振興会*	岡山県	白明会*	福島県	両原早乙女踊り保存会
大阪府	大阪太鼓文化研究会*	広島県	大朝飾り牛保存会	茨城県	東金砂神社田楽舞保存会
兵庫県	小五月祭(悼の歌)保存会	山口県	徳佐はやしだ保存会	栃木県	大沢田太々神楽保存会
鳥取県	賀露神社麒麟獅子舞保存会	愛媛県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*	群馬県	上泉獅子舞保存会
島根県	須佐神楽保存会	福岡県	水田天満宮稚児風流保存会	神奈川	長安寺六字誂念仏講中
広島県	小原大元神楽 小原神楽団	佐賀県	戸ヶ里浮立保存会	新潟県	二田物部神社神楽舞保存会
	南方の万灯保存会		祖子分面浮立保存会	福井県	今庄羽根曾踊保存会
香川県	肥土山農村歌舞伎保存会	長崎県	滑石竜踊保存会	長野県	湯原神社式三番保存会
愛媛県	豊茂五ッ鹿踊り保存会	熊本県	菜ノ花会*		外倉獅子舞保存会
高知県	西諸木花取踊り保存会		九州相良古代踊り下免田保存会	岐阜県	高桑太鼓保存会
佐賀県	広瀬浮立保存会	大分県	佐伯市宇目酒利獅子保存会	愛知県	金沢歌舞伎
長崎県	太田尾地藏祭飾うめん保存会*	宮崎県	下旦祇園囃子保存会こども祇園囃子	三重県	なすび団扇継承保存会*
	戸根浮立保存会		行簾町白太鼓踊り保存会		「てんてん」保存会
熊本県	加勢川開発研究会合せ打保存会*	鹿児島	六日町ヨイマカ保存会	滋賀県	古高鼓踊り保存会
	下里白太鼓踊り保存会	沖縄県	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*	京都府	天満神社相撲保存会
大分県	荻神社俵楽		鮫島健志氏(加世田の鍛冶)*	大阪府	櫻井西青年団
宮崎県	太郎坊べぶ踊り保存会		大浜青年会	兵庫県	宗教法人 廣峯神社
鹿児島	入来神舞保存会		今泊棒術保存会	奈良県	月ヶ瀬奈良晒保存会*
沖縄県	新川青年会			和歌山	熊野速玉大社祭事保存会
	平成17年度助成(37)		平成15年度助成(35)	鳥取県	江波三番叟保存会
青森県	青森ねぶた正調囃子保存会	北海道	剣淵神楽保存会「剣龍会」	島根県	都神楽団
岩手県	大ヶ生山伏神楽保存会	青森県	大川原の火流し保存会	岡山県	地域伝統工芸がませごの会*
	喜多流大船渡	宮城県	山田大名行列組合		神根神社獅子舞保存会
宮城県	新城の田植踊保存会	秋田県	潟船保存会*	広島県	磐門神楽団
秋田県	赤田獅子舞保存会	山形県	根子番楽保存会		郷之崎神楽団
山形県	蔵岡延年の舞保存会	群馬県	吹浦田楽保存会	山口県	山崎八幡宮 本山神事保存会
福島県	館早乙女踊保存会	千葉県	行田獅子舞保存会	徳島県	大俣じょうれい 踊り保存会
	木目沢三匹獅子保存会	神奈川	バツパカ獅子舞保存会	愛媛県	河内口説保存会
茨城県	日立郷土芸能保存会	新潟県	長谷ささら踊り盆唄保存会		野間獅子連中
栃木県	三本木獅子舞保存会	岐阜県	輪島市本町キリコ奉賛会	福岡県	浮羽町石垣保存実行委員会*
埼玉県	辻の獅子舞保存会	静岡県	数河獅子保存会	佐賀県	佐賀錦振興協議会*
千葉県	岩沼の獅子舞保存会	愛知県	富士宮囃子保存会		西神野玄蕃一流浮立保存会
	中野獅子保存会	三重県	住吉ちんとう祭委員会	長崎県	千代田中部小学校 高志狂言保存会
	幸田羯鼓舞保存会	滋賀県	本郷「かんこ」踊り保存会	熊本県	大浦区舟グロー保存会
東京都	矢部八幡宮獅子舞保存会	京都府	志那中サンヤレ踊り保存会		菜ノ花会*
神奈川	田村ばやし保存会		二箇上区		相良吾平阿蘇神社伝統神楽保存会
福井県	蔵生区自治会	兵庫県	阿良須神社練込保存会		産島八幡宮海を渡る祭礼保存会
山梨県	高尾山穂見神社神楽保存会	奈良県	魚吹八幡神社武神祭保存会	大分県	板井迫神楽保存会
長野県	熊野神社祭囃子保存会	和歌山	尾山萬歳保存会	宮崎県	虚無僧踊保存会
	桐原獅子舞保存会	鳥取県	椎出の鬼の舞保存会	鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*
愛知県	牧野嶋念仏踊り保存会	島根県	貴布禰神社麒麟獅子舞保存会	沖縄県	津波古獅子蹴跳保存会*
三重県	白塚町通夜講	広島県	見々久神楽保持者会		那覇市首里汀良町獅子舞保存会
滋賀県	渋川花踊り保存会	徳島県	枝の宮田楽団		平成14年度助成(48)
兵庫県	住吉神社水無月祭打込囃子保存会	愛媛県	つるぎ町一字雨乞い踊り保存会	北海道	篠路歌舞伎保存会
奈良県	田原地区伝統芸能保存会		佐田岬裂織り保存会*	青森県	入口青年会
和歌山	春駒保存会	高知県	客天弓祈禱保存会	岩手県	彦部郷土芸能保存会
島根県	矢上田植ばやし保存会	福岡県	狩山豊年踊保存会		板用肩怒剣舞保存会
広島県	羽佐竹神楽団後援会	佐賀県	狩菩提山お田植祭保存会	宮城県	河南鹿嶋ばやし保存会
福岡県	八女市土橋八幡宮神行事保存会	長崎県	仁比山神社大御田祭御田舞保存会		君萱若松神社神楽会
佐賀県	川内浮立保存会	熊本県	上戸石町自治会	秋田県	東長野ささら保存会
	三部区	大分県	西安寺神楽保存会	山形県	南陽市古代織りの伝統を守る会*
長崎県	中尾獅子浮立と唐子踊保存会	宮崎県	大恩文化財愛護少年団	福島県	白鳥神社太々神楽保存会
熊本県	宝川内志賀段七踊り保存会	鹿児島	唐瀬子供神楽会	茨城県	真家みたまおどり保存会
大分県	田原獅子保存会	沖縄県	田之浦山宮神社神楽保存会	栃木県	上横倉の獅子舞保存会
宮崎県	川内棒踊保存会		いしやなざら青年会	群馬県	千本木龍頭神舞保存会
鹿児島	久見崎盆踊り「想夫恋」保存会		平成16年度助成(36)	埼玉県	沖内囃子保存会
沖縄県	天願獅子舞保存会	青森県	片岸えんぶり組	千葉県	野田津久舞保存会
	平成18年度助成(37)	岩手県	田東剣舞保存会	東京都	手作り絹研究会・多摩織部会*
北海道	元更別大国神社石見神楽保存会	宮城県	廿一田植踊保存会	神奈川	相模里神楽垣澤社中
青森県	斗内獅子舞保存会	秋田県	黒川番楽保存会	富山県	諏訪神社獅子舞保存会
岩手県	豊沢大念佛剣舞保存会	山形県	羽黒山松例祭若者衆	福井県	じじぐれ祭保存会
	生出神楽保存会	福島県	昭和村からむし織後継者	山梨県	下市之瀬獅子舞保存会
宮城県	大曲法印神楽保存会		→育成事業実行委員会*		表門神社神楽保存会
秋田県	大湯大太鼓保存会	栃木県	尾ざく獅子舞保存会	長野県	木賊獅子保存会
福島県	会津万歳安佐野保存会	群馬県	赤城町古典芸能保存会	岐阜県	有道しゃくし保存会*
茨城県	片野排福ばやし保存会	千葉県	本納滝の谷獅子舞保存会	愛知県	伝承知多木綿つものき*
栃木県	興野ささら獅子舞保存会	東京都	むさしのばやし保存会		石上げ祭伝承保存会
群馬県	泉沢町郷土芸能保存会	神奈川	三増獅子舞保存会	三重県	野口御神楽保存会
千葉県	万作踊り松戸保存会	富山県	宮崎神楽保存会	滋賀県	上砥山田楽踊保存会
東京都	美山町鯨獅子舞保存会	長野県	和田中神社太神楽保存会	兵庫県	南光子ども歌舞伎育成会
神奈川	あつぎひがし座	愛知県	上駒沢祭典保存会	奈良県	月ヶ瀬奈良晒保存会*
			向山神楽獅子保存会		

平成3年～令和3年 都道府県別伝統文化助成先一覧(4) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
熊本県	黒辺田野白太鼓踊保存会	栃木県	下鉢石町自治会	平成18年度助成(続き)	
鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*	群馬県	宝積寺白鬚神社雅楽部	石川県	加賀万歳保存会
沖縄県	黒島民俗芸能保存会	埼玉県	椿名神社太々神楽保存会	福井県	舟寄踊保存会
平成22年度助成(42)		千葉県	脚折雨乞行事保存会	愛知県	きねこさ祭保存会
青森県	二ツ森神楽芸能保存会	東京都	岩沼の獅子舞保存会	滋賀県	椿神社流鏑馬保存会
岩手県	門中組振興会	神奈川県	田無ばやし保存会	大阪府	大阪欄間工芸協同組合*
宮城県	佐藤明彦氏(堤人形製作)*	新潟県	海南神社行道面保存会	兵庫県	仁色長持保存会
秋田県	冬師番楽保存会		他門神楽保存会	和歌山	糸我郷土伝統芸能保存会
山形県	西袋獅子踊保存会	富山県	半田神社神楽舞保存会	鳥取県	美成地区
福島県	菅波伝統文化継承会		八口諏訪社獅子舞保存会	島根県	野石谷伝統芸能保存会
茨城県	あおき囃子連	山梨県	大垣外獅子舞保存会	広島県	諸木郷土芸能保存会
栃木県	河井獅子舞保存会	岐阜県	美濃歌舞伎保存会	徳島県	多田健二氏(阿波木偶人形制作)*
群馬県	木崎音頭保存会	静岡県	掛塚屋台囃子保存会	香川県	香翠座デゴ芝居保存会
埼玉県	三若会	愛知県	六ツ師獅子舞保存会	福岡県	豊前感應楽保存会
	柏合獅子舞保存会	三重県	生桑町長松神社鏡餅奉納会	佐賀県	西牟田区子供みこし・鉦浮立保存会
千葉県	熊野神社神楽保存会		曾原かんこ踊保存会	長崎県	平島ナーマードー保存会
	上本郷獅子講中	滋賀県	篠田の花火保存会*	熊本県	ききつ船津パーロン保存会
東京都	檜立踊り保存会	大阪府	だいがく保存会		竹迫観音祭保存下町分会
新潟県	川根谷内獅子保存会	奈良県	川西町保田自治会		栖本町郷土芸能保存会
富山県	福島青年親交会	和歌山	ねんねこ祭保存会	大分県	保戸島伝統芸能保存会
石川県	小松尾小屋齋保存会	島根県	岩野原獅子舞保存会	宮崎県	熊襲踊保存会
長野県	玉依比賣命神社	岡山県	福石神楽団		細野一区輪太鼓踊り保存会
岐阜県	加納まちづくり会(和傘製作)*	広島県	名字獅子舞保存会	鹿児島	小島棒踊り保存会
静岡県	巖室神社鎮火祭保存会		五日市芸能保存会	沖縄県	中間棒踊り保存会
愛知県	有松天満社文嶺講	徳島県	後山からくり襖絵保存会		中城村宇津瀨伝統芸能保存会
三重県	牛蒡祭保存会	香川県	流水灌頂法要保存会	平成19年度助成(39)	
滋賀県	志賀神社氏子総代	福岡県	下町獅子山保存会	北海道	寿都松前神楽保存会
大阪府	三ツ松明土行念仏保存会	長崎県	上原浮立保存会	青森県	大平大神楽
兵庫県	北野まつり保存会	熊本県	川島神楽連	岩手県	法領田獅子踊り保存会
奈良県	惣谷狂言保存会		都呂々獅子舞太鼓踊り保存会		羽山神楽保存会
鳥取県	向垣神社祭礼行事保存会	宮崎県	入下神楽保存会	宮城県	浪板虎舞保存会
島根県	御霊会風流保存会	鹿児島	下野田植唄民謡保存会	秋田県	鳥海山日立舞横岡番楽保存会
岡山県	佐方子供吉備神楽伝承教室	沖縄県	船浮民俗芸能保存会	山形県	幸生区・三地区契約会
広島県	おおたけ手すきと紙保存会*	平成21年度助成(42)		福島県	浮島神社太々神楽保存会
山口県	山代白羽神楽保存会	北海道	大船南部神楽保存会		糠塚三匹獅子保存会
徳島県	橘だんじり祭り獅子組	青森県	乳井獅子保存会	栃木県	芦沼獅子舞保存会
愛媛県	北方獅子舞保存会	岩手県	四ツ堰鹿子踊り保存会		山本政史氏(日光下駄製作)*
高知県	シットロ踊り保存会		村崎野大乗神楽保存会	群馬県	貝沢西組獅子舞保存会
福岡県	鷹尾神社伝統芸能文化保存維持会	宮城県	中新田火伏せの虎舞保存会	埼玉県	下日出谷餅搦踊り保存会
佐賀県	母ヶ浦面浮立保存会	秋田県	梅内郷土芸能保存会	千葉県	八幡神社の獅子舞保存会
長崎県	平島盆踊り保存会	福島県	渡戸高野・麁組	東京都	星竹囃子連
熊本県	栖本町郷土芸能保存会	栃木県	文挾流手岡獅子舞講中	新潟県	内島見神楽保存会
大分県	新町自治会	群馬県	新井八幡宮獅子舞保存会	石川県	二所宮獅子舞保存会
宮崎県	高木郷土芸能保存会	埼玉県	北袋囃子連	福井県	長畝日向神楽保存会
	都城市高城町桜木あげ馬保存会	千葉県	不入斗同志会	山梨県	藤木道祖神祭保存会
沖縄県	鳩間民俗芸能保存会	東京都	代々木囃子保存会	長野県	山新田太神楽保存育成会
平成23年度助成(42)			山田獅子舞保存会	愛知県	名古屋港筏師一本乗り保存会
北海道	糠内獅子舞保存会	神奈川	小向獅子舞保存会	三重県	矢浜神楽保存会
青森県	同心町熊野神社神楽連	新潟県	羽森神社神楽舞保存会	滋賀県	大原学区豊年太鼓踊り保存会
岩手県	外山神楽保存会	富山県	桐山獅子舞保存会	京都府	田山花踊り保存会
宮城県	熊野堂神楽・舞楽・十二神鹿踊保存会	石川県	門前とどろ保存会	兵庫県	小野原住吉神社神舞保存会
秋田県	福嶋サイサイ囃子保存会	長野県	町区太々神楽実行委員会	岡山県	粟井春日歌舞伎保存会
山形県	若宮八幡神社太々神楽保存会		笹岡祖神日待古祭保存会	広島県	長尾神社湯立神楽保存会
福島県	杉沢愛宕神社三匹獅子保存会	静岡県	笹岡神楽保存会	山口県	藤生神楽保存会
群馬県	美茂呂町屋台囃子保存会	愛知県	日下部太鼓保存会	徳島県	上八万伝統文化を守る会
埼玉県	白久串人形芝居保存会	三重県	大江羯鼓踊保存会	香川県	賀茂神社長床神事保存会
千葉県	旅名自治会	滋賀県	中堀町自治会孔明祈水山保存会	愛媛県	かぶと踊り保存会
東京都	鹿島流獅子舞引田保存会	京都府	質美下村区文化財保存委員会	高知県	東洋町流鏑馬保存協議会
	諏訪神社崇敬会	兵庫県	日吉神社龍王の舞及び祝詞太鼓保存会	熊本県	大浦獅子保存会
神奈川	川名屋台ばやし保存会		福住下自治会	熊本県	柳別府太鼓踊り保存会
新潟県	天神林天満宮伶人会	奈良県	八島町六齋念仏講	大分県	深山流朝地神楽保存会
富山県	田島自治会	和歌山	南道奴行列保存会	宮崎県	郷之原芸能協賛会
福井県	宇波西神社神事芸能保存会	鳥取県	江波三番叟保存会	鹿児島	鯉島健志氏(加世田の鍛冶)*
山梨県	NPO法人小谷山村留学育成会*	島根県	八神神楽団		如竹踊り保存会
長野県	小野八幡神社祭礼運営委員会		亀山将氏(足踏み水車の修復)*	沖縄県	古見民俗芸能保存会
岐阜県	東光寺猿舞保存会	岡山県	宇甘神社獅子舞保存会	平成20年度助成(40)	
静岡県	中之切奉賛会	広島県	富士神楽団	北海道	寿都松前神楽保存会
愛知県	立神自治会	徳島県	特定非営利活動法人赤松煙火保存会*	青森県	上十川獅子踊保存会
三重県	周枳民芸保存会	香川県	和田雨乞踊保存会	岩手県	都島田植踊保存会
京都府	野崎第一地車保存会	福岡県	上久原白山宮獅子舞保存会	宮城県	日高流浅部法印神楽保存会
大阪府	淡路人形浄瑠璃青年研究会	佐賀県	自然と暮らしを考える研究会*	秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会
兵庫県	神波多神社獅子神楽保存会	長崎県	権常寺浮立保存会	山形県	舟渡獅子踊り保存会
奈良県		熊本県	竹迫観音祭保存会	福島県	北萱浜神楽愛好会

平成3年～令和3年 都道府県別伝統文化助成先一覧(5) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
		平成25年度助成(42)		平成23年度助成(続き)	
島根県	玉造調理師会	青森県	上川目神楽保存会	島根県	出雲國奏楽鎮成会
広島県	山波神楽団	岩手県	大石虎舞組	広島県	大朝飾り牛保存会
山口県	住吉神社御船謡保存会		築館大乘神楽保存会	山口県	お手廻り保存会
徳島県	鳴門大風保存会	宮城県	鳥屋ヶ崎八幡神社獅子舞保存会	徳島県	大谷郷土文化保存会
香川県	石切唄保存会	秋田県	釜ヶ台番楽保存会	香川県	七宝古流本村夫婦獅子舞保存会
愛媛県	掛木天満宮「牛鬼」保存会	山形県	中獅子踊り保存会	愛媛県	佐方獅子保存会
高知県	御田八幡宮秋の例祭保存会	福島県	和田神社太々神楽保存会	高知県	大和太刀踊り保存会
福岡県	柳川市立柳河小学校 →特別クラブ「子どもどろんどろん」	茨城県	久保田のおはやし保存会	福岡県	ぜんでこ踊り保存会
佐賀県	川上鉦浮立保存会	栃木県	万町一丁目東自治会		平八月祭り保存会
長崎県	東上面浮立保存会	群馬県	新田赤堀獅子舞保存会	佐賀県	南片白区浮立保存会
熊本県	熊本新町獅子保存会	埼玉県	北本宿囃子連	長崎県	馬場本浮立保存会
宮崎県	細江神楽保存会		神明社神楽保存会	熊本県	小屋川内獅子舞保存会
	風田製糖組合*	千葉県	関下囃子	大分県	重岡岩戸神楽保存会
鹿児島県	花尾太鼓踊り保存会	東京都	檜原村春日神社御飼神事保存会	宮崎県	花木地区郷土芸能あげ馬保存会
沖縄県	勢理客区	新潟県	長沢祭典実行委員会	鹿児島県	西上太鼓踊り保存会
	平成27年度助成(44)	富山県	打出青壮年部	沖縄県	伊平屋村青年団協議会
北海道	遠矢神楽舞保存会	石川県	串町町内会		平成24年度助成(54)
青森県	甲地神楽保存会	福井県	闇見神社例祭神事保存会	青森県	五戸えんぶり組
岩手県	小通芸能保存会	山梨県	新町お囃子保存会	岩手県	門中組振興会
	槻沢芸能保存会	岐阜県	NPO法人クレーンワーク協会・竹部会*		片岸虎舞保存会
宮城県	三輪流神楽保存会	愛知県	愛知・半田・板山万歳保存会	宮城県	山岸さんさ踊り保存会
秋田県	坂之下番楽保存会	三重県	東玉垣唐人踊り保存会		小室契約会
山形県	綱木獅子踊り保存会	滋賀県	鍋冠祭保存会		浪板虎舞保存会
茨城県	古内大杉ばやし保存会	大阪府	御領地車保存会		磯草虎舞保存会
栃木県	天下一関白流西組獅子舞保存会	兵庫県	御淵獅子舞保存会		大谷大漁い込み保存会
埼玉県	久那獅子舞保存会	奈良県	吐山太鼓踊り保存会		長塩谷南部神楽保存会
	金鑽神楽永田組	和歌山	三船踊り保存会		大室南部神楽保存会
千葉県	浄土宗西福寺	島根県	美保神社神事奉賛会		相川南部神楽保存会
東京都	大宮前郷土芸能保存会	岡山県	佐方ひがさき踊り保存会		仙台堆朱*
	多摩めかしの会*	広島県	錦城神楽団	秋田県	秋田万歳保存会
神奈川	根府川寺山神社鹿島踊保存会	山口県	滝坂神楽舞保存会	山形県	大谷神楽保存会
新潟県	昔かたり春よこい	徳島県	宿毛谷獅子舞保存会	福島県	川原田神楽保存会
富山県	広野自治会	愛媛県	金栄会		新館太々神楽保存会
石川県	神子原壮年団	高知県	四ツ白武士踊り会		鹿島神社郷土芸能保存会
長野県	日和山神社芸能保存会	福岡県	安武楽保存会	栃木県	天命鑄物伝承保存会*
岐阜県	綾野第三自治会小獅子軸保存会		豊前小倉織研究会*	群馬県	白瀧神社太々神楽保存会
愛知県	知立神楽保存会	佐賀県	執行分浮立保存会	埼玉県	下小坂獅子舞保存会
三重県	若宮八幡神社北村石取り祭車保存会	長崎県	長崎明清楽保存会	千葉県	飯岡ばやし 日の出会
滋賀県	大野木豊年太鼓踊り保存会	熊本県	市房山神宮里宮神社	東京都	高井戸囃子保存会
京都府	玉田神社宮座「森座」		長坂なれなれなすび踊り保存会	新潟県	大谷地和紙保存会*
大阪府	中垣内地車保存会	宮崎県	中野神社神楽保存会		蔵王稚児舞の会
兵庫県	土師獅子舞保存会	鹿児島	黒潮太鼓	富山県	加茂神社神事伝承会
奈良県	篠原おどり保存会		平成26年度助成(44)	石川県	向粟崎悪魔払い保存会
和歌山	亀の川念仏踊り保存会	北海道	美和権現獅子舞保存会	福井県	多賀区獅子保存会
鳥取県	菖蒲神社麒麟獅子舞保存会	青森県	目名神楽会	山梨県	中之倉神楽保存会
島根県	三谷神社獅子舞保存会	岩手県	の組菱和会	長野県	湯原神社式三番保存会
広島県	山根神楽団	宮城県	白浜自治会(旧白浜契約会)	岐阜県	河鹿神社賀喜踊り保存会
	おおたけ手すき和紙保存会*	山形県	舟渡獅子踊り保存会	愛知県	万足平を考える会*
山口県	切山歌舞伎保存会	福島県	松岡若連		村木神社おまんこ祭り保存会
徳島県	池谷郷土芸能保存会	栃木県	日光囃子保存会	三重県	戸木東組かんこ踊り保存会
愛媛県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*	群馬県	津久田人形操作伝承委員会	滋賀県	小野町太鼓踊り保存会
福岡県	永井獅子保存会	埼玉県	今成地区山車・囃子保存会	大阪府	深江菅細工保存会*
佐賀県	浮立・荒踊り保存会		赤沼民俗文化財保存会	兵庫県	西町獅子舞保存会
長崎県	命婦の舞保存会		久長元耕地獅子舞保存会	奈良県	田原地区伝統芸能保存会
熊本県	仲町の茶わん鉢保存会	千葉県	道庭獅子連保存会	和歌山	堅田祭保存会
	宇土市轟泉簡易水道組合*	東京都	八幡囃子保存会	岡山県	大浦神社
大分県	堅浦古典芸能保存会	神奈川県	台祭囃子保存会	広島県	御調八幡宮花の踊り保存会
宮崎県	神下俵踊り保存会	新潟県	水沢伝統芸能保存会	山口県	上野神楽舞保存会
鹿児島	目手久民謡保存会	富山県	加茂神社神事伝承会	徳島県	森藤獅子舞保存会
沖縄県	仲西獅子舞保存会	石川県	内灘町宮坂区	香川県	安田おどり保存会
	平成28年度助成(43)	福井県	鈴鹿区大太鼓保存会	愛媛県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*
北海道	寿都松前神楽保存会	山梨県	一之瀬高橋春駒保存会	高知県	泉川長者花鳥踊り保存会
青森県	入口青年会	長野県	根神社式三番曳保存会	福岡県	植木の三申踊り保存会
	嘉瀬奴踊り保存会	岐阜県	綾野第4自治会綾野祭輪囃子軸保存会	佐賀県	島海浮立保存会
岩手県	板沢しし踊り保存会	愛知県	上名和祭りばやし保存会	長崎県	森山本村郷土芸能保存会
宮城県	赤谷神楽保存会	滋賀県	東大高祭禮保存会	熊本県	東浦白太鼓踊り保存会
秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会	京都府	下笠参弥礼踊り保存会	大分県	北原人形芝居保存会
山形県	清川獅子神楽実行部会		出雲風流花踊り保存会	宮崎県	不土野芸能保存会
福島県	太田川梅若歌念仏踊り保存会		NPO法人丹波漆*	鹿児島	土踊り保存会
	梅田三匹獅子舞保存会	大阪府	延喜式内社 岐尼神社	沖縄県	童子八月踊り研究会
栃木県	大沢獅子舞保存会	和歌山	池田秀孝氏(紀州高野組子細工技術)*		豊見城市 高安自治会
群馬県	鷲宮太々神楽保存会	鳥取県	服部神社獅子舞保存会		

平成3年～令和3年 都道府県別伝統文化助成先一覧(6) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
三重県	五ヶ所浦区	鹿児島	ナゴシボンをつなぎ手事業	平成28年度助成(続き)	
滋賀県	古屋六斎念仏踊保存会	沖縄県	ヨシシ踊保存会	埼玉県	粟生田囃子会
大阪府	中佐備町会		新里民俗芸能保存会	千葉県	新久はやし保存会
兵庫県	下浜三番叟保存会		伊是名区	東京都	家之子獅子連郷土芸能保存会
奈良県	紅して踊り保存会	平成30年度助成(43)		神奈川県	森山はやし保存会
鳥取県	逢東盆踊り保存会	北海道	砂川もちつき保存会	神奈川	田村ばやし保存会
島根県	土江子ども神楽団		越中踊り子供保存会	新潟県	小川連中
山口県	末田焼物の里保存会*		留萌岩戸神楽保存会	富山県	岩瀬白山町曳山断方保存会
徳島県	七成会	青森県	柏木町荒馬保存会	福井県	日吉青年会
愛媛県	下吾川獅子舞保存会		八幡崎郷土芸能保存会	長野県	影山区
高知県	大谷花取踊保存会	岩手県	善楽流獅子舞保存会	愛知県	白山神社奉納雅楽舞踊保存会
福岡県	沼楽保存会	宮城県	大槌城山虎舞	三重県	牛蒡祭保存会
佐賀県	龍宿浦面浮立保存会	秋田県	宮川田嶺神社附属神楽組	滋賀県	金居原太鼓踊り保存会
長崎県	島原木綿織保存会*		(一社)鹿角紫根染・茜染研究会*	京都府	福知山市佛性寺自治会
	狩立オネオンデ保存会	山形県	板戸番楽保存会	兵庫県	熊野神社浄舞保存会
大分県	玖珠神楽 神祇社	福島県	致芳地区文化振興会	奈良県	龍口獅子舞保存会
宮崎県	小川神楽保存会		磐梯町 本寺区	和歌山	土生八幡神社「お頭保存会」
沖縄県	志多伯獅子舞棒術保存会		門鹿王子神社太々神楽保存会	鳥取県	大和佐美命神社獅子舞保存会
令和2年度助成(42)		栃木県	天下一関白獅子舞保存会	島根県	野石谷伝統芸能保存会
青森県	塩釜神楽保存会	群馬県	八木原諏訪神社太々神楽舞子会	広島県	下板木コミュニティー
岩手県	青笹町しし踊り保存会	埼玉県	金鑽神楽岡部組保存会	山口県	むつみ神楽保存会
宮城県	白石和紙 蔵富人*	千葉県	賀茂神社民俗芸能保存会	徳島県	東辻郷獅子舞牡丹連保存会
	塩竈神楽保存会	東京都	青梅市虎柏神社祭礼行事保存会	愛媛県	NPO法人姫だるまプロジェクト*
秋田県	上若郷土芸能保存会	新潟県	赤塚太々神楽保存会	高知県	日高村太刀踊保存会
山形県	達磨寺田植踊り保存会	福井県	田井野区(多由比神社伝統芸能保存会)	福岡県	元岡祇園ばやし保存会
福島県	海老根伝統手漉し和紙保存整備事業実行委員会*	長野県	野辺町来迎念仏講	佐賀県	宮野浮立保存会
茨城県	女沼ささら保存会	岐阜県	東座歌舞伎保存会	長崎県	横尾だんじり保存会
栃木県	尾出山神社閼白流獅子舞保存会	静岡県	東光寺猿舞保存会	熊本県	東方組太鼓踊り保存会
群馬県	新井獅子舞保存会	愛知県	藤江神社八ッ頭舞楽保存会	大分県	岡倉神楽保存会
埼玉県	金鑽神楽本庄組神楽保存会	三重県	田口念仏踊継承会	宮崎県	酒谷地区むらおこし推進協議会
千葉県	家之子獅子連郷土芸能保存会	滋賀県	黒川花笠太鼓踊り保存会	鹿児島	止神神社神舞保存会
東京都	大戸囃子保存会	和歌山	黒川町古典芸能保存会	沖縄県	友寄獅子舞棒術保存会
神奈川	相模人形芝居 前鳥座	鳥取県	秋里伝統文化を保存する会		崎原克友氏(八重山上布織物技術)*
新潟県	関山神社仮山伏伝承会	島根県	三葛神楽保持者会	平成29年度助成(43)	
富山県	稗田伝統文化保存会	山口県	豊原地区腰輪踊り保存会	北海道	有明獅子舞有志の会
石川県	中央町中思会	徳島県	信正鉦踊り保存会	青森県	国吉獅子踊保存会
福井県	三国祭囃子 初香会	香川県	櫃石ももて祭保存会	岩手県	篠木神楽保存会
長野県	中萱紫石会	愛媛県	天神花踊り保存会		平泉流細野念仏剣舞
岐阜県	青墓大太鼓踊りを守る会	高知県	佐喜浜八幡宮古式行事保存会	秋田県	脇本山車どんど保存会
愛知県	美浜町 古布区 祭礼	福岡県	博多鉄製作技術保存会*		亀田大神楽神楽講
	尾張旭市印場北部地区警固祭り保存会		前田の盆踊保存会	山形県	岩根沢大々神楽保存会
三重県	立岡虫送り保存会	佐賀県	下新ヶ江地区沖ノ島太鼓浮立保存会	福島県	荒獅子保存会
滋賀県	朝日豊年太鼓踊保存会	長崎県	正山八ノ川青年団	栃木県	伊野下町祭保存会
大阪府	摂州地車囃子かざら	熊本県	清源寺神楽保存会	埼玉県	東不動院野神楽保存会
和歌山	根来塗曙山会*	大分県	山香神楽保存会		古久喜獅子舞保存会
	顯國神社三面保存会	宮崎県	比木神社神楽会	千葉県	熊野神社神楽保存会
島根県	出雲大社教神代神楽西日登神楽社中	鹿児島	竹原神社からくり保存会	東京都	清水ばやし保存会
広島県	田熊神代神楽保存会	沖縄県	松原自治会(獅子舞保存会)	神奈川	野比中村虎踊り保存会
山口県	下関平家踊保存会西山連	令和元年度助成(42)		新潟県	浦瀬町奏楽保存会
徳島県	宍喰祇園祭お能保存会	青森県	八戸市立島守小学校神楽クラブ	石川県	柴垣壮年団
香川県	原獅子組	岩手県	八幡大神楽保存会	福井県	津島区神楽保存会
高知県	浮津西町鯨舟の唄保存会	宮城県	秋保神社神楽保存会	長野県	小市神楽囃子保存会
福岡県	松会保存会	秋田県	大湯大太鼓保存会	岐阜県	関市獅子舞保存会
佐賀県	米多浮立保存会		仙道番楽保存会		岐阜和傘プロジェクト実行委員会*
長崎県	長坂浮立保存会	山形県	鍋田念佛講保存会		江浦伝統文化保存会
熊本県	永尾ちよぼくれ保存会	茨城県	古河神楽保存会	愛知県	出川町棒ノ手保存会
	柳別府太鼓踊り保存会	栃木県	大神神社神楽保存会	三重県	大淀東区自治会
大分県	宝楽保存会	群馬県	市祇園囃子保存会	滋賀県	井之口太鼓踊保存会
宮崎県	日南市泰平踊本町組保存会	埼玉県	戸口囃子会	大阪府	大東市中垣内自治会
鹿児島	大崎伝統芸能神舞保存会		武甲山御嶽神社里宮太々神楽保存会	和歌山	太地町民芸保存会寄水青年同志会
沖縄県	宮城ウシデーク保存会		諏訪万作保存会	鳥取県	波津神社獅子舞保存会
令和3年度助成(43)			岩沼の獅子舞保存会	島根県	深野神楽こども教室
北海道	上ノ国昔踊り保存会	千葉県	檜立太鼓会	岡山県	仕組踊保存会 城扇
青森県	湊えんぶり組	東京都	広野自治会	広島県	上河内獅子舞保存会
	浅井獅子踊保存会	富山県	川尻会 獅子舞響	山口県	徳地人形浄瑠璃保存会
	田子町ナニヤヤラ保存会	石川県	高浜七年祭保存会	徳島県	池谷神踊り保存会
岩手県	大吹森念仏剣舞保存会	福井県	小伏獅子舞保存会	香川県	賀茂神社長床神事保存会
	築館大乗神楽保存会	山梨県	根神社式三番叟保存会	福岡県	水田天満宮稚児風流保存会
宮城県	古式獅子舞保存会	長野県	杉山は清氏(わらび縄織技術他)	佐賀県	納富分浮立保存会
秋田県	東長野ささら保存会	岐阜県	伊豆島田区不動尊講	長崎県	東浜町一組女相撲保存会
	釜ヶ台番楽保存会	静岡県	勝幡おこまつり保存会	熊本県	菊池市下出田区・植古閑区
山形県	大谷獅子舞保存会	愛知県	下門祭礼保存会	大分県	三輪流臼杵神楽保存会
福島県	芳賀須内青年会		鳥原歌舞伎愛好会	宮崎県	麓輪太鼓踊り保存会

平成3年～令和3年 都道府県別伝統文化助成先一覧(7) *印は民俗技術

助成先	
令和3年度助成(続き)	
茨城県	東牛谷お囃子保存会
栃木県	大神神社伶人保存会
埼玉県	塚越囃子連
千葉県	笹川神楽保存会
東京都	留原囃子保存会
神奈川県	宮城野獅子舞保存会
新潟県	慎下町稚児舞保存会
富山県	広野自治会
山梨県	向原下組道祖神御神木保存会
長野県	和田神社御神楽芸能同志会
	荻原神社秋祭り実行委員会
岐阜県	荒川松阪踊り保存会
愛知県	大留下棒の手保存会
	常滑市小倉囃子保存会
	河和山車保存会
京都府	大住隼人舞保存会
	伊根町 亀島区
奈良県	大宝寺六斎講
和歌山	紀州製竿組合*
島根県	出雲國大原神職神楽保存会
広島県	宮之庄神楽団
	宗教法人 須佐神社
徳島県	勝瑞獅子保存会
香川県	山本長刀踊保存会
高知県	船戸花取踊り保存会
福岡県	今宿青木獅子舞保存会
佐賀県	戸杓浮立保存会
長崎県	高浜相撲協会
大分県	立石楽継承活動応援隊
	阿鹿野獅子保存会
鹿児島	土踊保存会
沖縄県	伊集の打花鼓保存会
累計助成件数 1,307件	

